「指導の要点」と教材関連表　　＜内容項目B　小学校「礼儀」　中学校「礼儀」＞

（例）　◎・・・その教材で重点的に扱うことができる指導の要点　　　〇・・・その教材で扱うことができる指導の要点

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教 | 学年 | 小１ | | 小２ | | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
| 教材名  指導の要点 | あいさつ | おうだんほどうで | いそいでいても | 「あいさつ」っていいな | あいさつをすると | 「ありがとう」の言葉 | オーストラリアで学んだこと | 心を形に | 朝市の「おはようございます」 | あいさつ | 言葉おしみ |
| 低  学  年 | 日常生活を送るために欠かせない基本的な挨拶などについて，実感的に理解を深めること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 外出時や公共の場での振る舞い方など社会との関わりの中での礼儀について考えること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中  学  年 | 誰に対しても真心をもって接すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 真心は相手に態度で示すことができることに気付くこと。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 家庭や地域社会での日常の挨拶，学習や給食の際の態度，校外学習など見学先での振る舞いなどについて考えること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高  学  年 | 挨拶などの礼儀は社会生活を営む上で欠くことのできないものであることを押さえること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 相手を尊重する気持ちを自分自身の体験などを通して考えること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 礼儀に対する意識を高めること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中  学  校 | 挨拶の意義などを主体的に考え，理解すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 形の根底に流れる礼儀の意義を深く理解すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 他国の礼儀についても理解を深め，他国の人々に気持ちよく接することができるようにすること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 礼儀は，相手を人間として尊重する精神の現れであることを十分に理解すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※児童生徒や学校の実態，授業者の意図により自校化できます。「『指導の要点』と教材関連表」をダウンロードして活用してください。